

API利用方法

富士通株式会社



© 2023 Fujitsu Limited





版数	改版日	変更内容
1.0	2023/06/30	初版作成
1.1	2023/07/10	APIのURLを更新
1.2	2023/08/24	「はじめに」に通常のAPIとアプリ開発用APIの違いに関する記述を追加





- 本ドキュメントではFujitsu Research Portalで公開しているAPIの利用方法について説 明する
- Fujitsu Research PortalでAPIを利用するためにはアカウント作成の後、作成したアカウントにログインする必要がある
 - アカウント作成方法については、別ドキュメント(アカウント作成方法)を参照
- Fujitsu Research Portalで公開しているAPIを利用するためにはAPIアクセストークンを Authorizationへッダに付与する必要がある
 - APIアクセストークンの発行方法については、別ドキュメント(APIアクセストークン発行方法)を参照
- 通常のAPIとアプリ開発用APIの2種類が用意されている場合、以下のような違いがある
 - 通常のAPI: APIアクセストークンによりAPIを利用可能だが、APIアクセストークンには有効期限があるため、 APIを試用する用途に適している。ユーザ固有のパラメータはAPIアクセストークンから読み出される
 - アプリ開発用API: 固定のサブスクリプションキーによりAPIを利用可能なため、APIを利用してアプリを開発する 用途に適している。ユーザ固有のパラメータは、アプリ側で制御してAPIへのリクエストパラメータに含める必要が ある





●本ドキュメントではFujitsu Research Portalで公開しているAPIの利用方 法を2種類説明する

- 1. Fujitsu Research Portal上でのAPIの利用
- 2. <u>cURL</u>などからのAPI利用方法
 - <u>Postman</u>などでも同様に利用可能なので適宜読み替える
- また、Fujitsu Research Portal上のAPIの利用回数には以下の制限が付いている
 - ●ユーザごとに5 request / min
 - ユーザごとにカウントするため別のAPIを叩いた場合もカウントアップされる



ログイン後、Fujitsu Research
 Portalのホーム画面中央または右上の「技術一覧」より「技術一覧」ページに移る

Fujitsu Web3 Components - Fujitsu Web3 Acceleration Platform



透過的トラスト 組織内・組織間でデータのやり取りを伴うワー クフローにおいて、オフラインでも検証できる 形で、真正性・非改ざん性を保証します。



Data e-TRUST 流通するデータの発行元や所有権、真正性の証 明と併せて、データ取引の証跡を改ざん不可能 な形で管理できます。

詳細ページ



ConnectionChain 複数のプロックチェーン間を接続し、チェーンを 横断しても、すべての取引処理が証跡として記録 することが可能です。

リリース準備中

●「技術一覧」より利用したい技術を選 択し、「詳細」ページに移る



FUITSU





「詳細」ページ下部の「APIを試す」ボ タンをクリックして「API仕様」ページに 移る



透過的トラスト	透過的トラスト
ク Search operations Oran basis 1 ALG と目れるという目的のクライバムともいと思想 NOI ワークフローと目的のファイバムともいと思想 RLL R営レルワークフローとキャンセル・ NOI	APCideInition Currents ASICE-EREACALHERGORBERFD-API、ASCERSIL: 日本のチータの真正住と整合性を対正します、この地址がなかすてき、なのチータンボドはいた感じ は始急されていないため、それ以降に考えないた時間以降にこのゲータン実現が加えられていないこととなります、ALHE系は、プロとス部トの実正にと思め性や好します。この時 ビジルなってき、名手、クラーの支援型、高品時がや高されていないことになります。それは限に着された時間以降にこのゲータに支援が加えられていないことになります。 Controller Serveedoverly APItryS、Verification Serveedoverly APItry (SUL)ます。 (面和1)-921-
	Request PMET http://witakew-research.elukal.fultus.com/r/3/wrify/buid Request parameters

● 左部のAPIのリストより利用したい APIを選択する

●利用したいAPIのヘッダやパラメータ、 ボディを確認し、右上の「Try it」ボタ ンをクリックし「Try it」ページを表示す る

<u>透過的トラスト</u> / ワーク	フローを対象のファイルとともに登録	×
POST /workflows		
Authorization $ imes$	×	
Developer_Portal_Acces	s_1 authorization_code 🗸 🗸	
		•
Parameters \land		
+ Add parameter		
Headers \land		
Content-Type	application/json	Ē
Cache-Cont rol	no-cache	
Authorization	····· @	ī
+ Add header		

- 「Try it」ページの「Authorization」 タブを開き、
 「Developer_Portal_Access_To ken」の項目で
 「authorization_code」を選択す る
- 選択すると、「Headers」タブに自動 的に「Authorization」項目と認証 して得られるAPIアクセストークンが付 与される

FUITSU



<u>透過的トラスト</u> / ワークフローを対象のファイルとともに登録					
POST /workflows					
Authorization \land					
Developer_Portal_Access_T No auth					
Parameters 🔨					
+ Add parameter					
Headers 🔨					
Content-Type application/json	Î.				
Cache-Cont rol no-cache	Ē.				
Authorization	ÎI)				
+ Add header					

 事前に取得したAPIアクセストークン を利用したい場合、「Headers」タブ 下部の「+Add header」をクリックし、 「Authorization」項目を追加し、 「Bearer eyJ…」を入力する
 「eyJ…」は事前に取得したAPIアクセス トークン

C	0
FUJ	ITSU

UTTD
HIIF *
െ Reveal secrets വ് Copy
POST https://apigateway.research.global.fujitsu.com/tr3/workflows HTTP/1.1
Content-Type: application∕json Cache-Control: no-cache
Authorization:
{
"addedFiles": [{
"name": "data.json",
"data": "ZmVpamFvcGp3a₩9haWVOb2pvdGFpam9hZWpydGIvd2RhZmRh
ZHNhZwRzYWFqYWhpdGIvYWpodGdpZQo="
11,
"signers": ["9c2ebe81-022e-402e-b1bb-d384c341e12b","876e5e03-
1222-49c3-a0f9-70415b51f543"]
1
Send

- 「Parameters」や「Headers」、
 「Body」の各項目に必要な情報を
 入力し、「Try it」ページの下部の
 「HTTP request」タブの「Send」ボ
 タンをクリックする
- 「HTTP request」タブ下のプルダウ ンメニューから言語を選択することでそ の言語でのAPIリクエストを行うための コードが表示される

HTTP response

HTTP/1.1 201 Created

connection: keep-alive content-type: application/json date: Fri, 07 Jul 2023 12:36:35 GMT transfer-encoding: chunked

{

"files": [{

●実行結果が表示されるので確認する

FUITSU

cURLなどからのAPI利用方法1



×	透過的トラ	スト				
roup by tag しとともに登録 - クフローをキャン	ワークフローを ワークフローを登録し、 \$ 透過的トラスト	」 changelog と対象のファ ^{対象のファイルに最初}	イルととも	5に登録 5.	τομικ	
	Request POST https://apigatemay Request headers	.research.global.fuji	lsu.com/tr3/∀orkf	lovs		
	Name	Required	Туре	Example	Description	
	X-Tr3-User-Id	false	string		Tr3Useridがヘッダとリクエストポディの両方 で指定された場合、リクエストポディの Tr3Useridは無視される。	

- Fujitsu Research Portal上での APIの利用1-3と同様に「API仕様」 ページに遷移し、利用したいAPIを選 択し、内容を確認する
- 「API仕様」ページの「Request」項目に記載されている「HTTPメソッド」、「URL」をメモする
- また、必要があれば、「Request parameters」、「Request headers」、「Request body」をメ モする

cURLなどからのAPI利用方法2



\$ curl -i POST "https://apigateway.research.gl obal.fujitsu.com/tr3/workflows" -H "Content-Type: application/json" -H "Cache-Control: no-cache" -H "Authorization: Bearer eyJhbGci0iJSUzI1N iIsImtpZCI6IiFWRURpWGtVWXZpaHFnOGRvRmU2dDBBYUhUSVVRT29Ia2t4TDhkN1EtNG8 iLCJ0eXAiOiJKV10if0.eyJvaWOiOiI5YzJ1YmU4MS0wMjJ1LTOwMmUtYjFiYi1kMzg0Yz M0MWUxMmIiLCJzdWIiOiI5YzJlYmU4MS0wMjJlLTQwMmUtYjFiYi1kMzg0YzM0MWUxMmIi LCJ1eHR1bnNpb25fdXN1c19pZCI6InNhc2FraX11a2kwMSIsImV4dGVuc21vb191c2VyX3 JvbGUiOiJ1c2VyIiwiZXh0ZW5zaW9uX2FnZW50MV9pZCI6Im9yZ0EiLCJ1eHR1bnNpb25f YWdlbn0xX3JvbGUiOiJhZG1pbmlzdHJhdG9yLHVzZXIsdHNlYWxfYWRtaW5pc3RyYXRvci x0c2VhbF9hZ2VudCx0c2VhbF91c2VyIiwidGlkIjoiYzhkMmY3YTgtY2E5MC00N2EwLWFm OGUtODg2ZDUyYzO0NGYwIiwidGZwIjoiQjJDXzFBX1NpZ25Jbl9Vc2VybmFtZSIsInNjcC I6ImFwaSIsImF6cCI6Iic00WI1YiV1LWRi0TEtNDdi0C05Y2U0LWJi0WVhZilhYTkzMiIs InZlci16IjEuMCIsImlhdCI6MTY40DczMzc2MywiYXVkIjoiNz05YjViNWUtZGI5MS00N2 I4LT1jZT0tYmM5ZWFm0WFh0TMvIiwiZXhwIjoxNjg40DIwMTYzLCJpc3Mi0iJodHRwczov L2ZgcmVzZWFyY2hwb3J0YWwuYjJjbG9naW4uY29tL2M4ZDJmN2E4LWNhOTAtNDdhMC1hZj hlLTg4NmQ1MmM0NDRmMC92Mi4wLyIsIm5iZiI6MTY40DczMzc2M30.p6gxCL1YZwPv0Hck 8ckl Gf9TZKdz5Eiz5GS1T7C7cvUnuTY8CnR6 hjm5w4G2uvsAsqlS-peGH yJO-VBstHd b1jH2p184nQMELbEDbbMR5o1y8xQPuawVpYtRhoHrnKq4eQPiqjPh 115nonlwf7G5TjcU WZjnJfbxkLgp10kX00tgzMHEdrlLA4JRleHooHsyXM7A5VJhtj1yTdWlloHL5j0tpZ0K55 6s7AlrT0uPM5A6igSK19Qed7LPaw47R0MIiwYx-VG4Q7VLGY4uQQG7esscG1G6TKsfgniw bblKgw0L B8WoJjXt8UTG3DwufPSmu-UGW4Ed1os4aBrgw" --data-raw "{

\"addedFiles\": [{

\"name\": \"data.json\",

```
}],
    \"signers\": [\"9c2ebe81-022e-402e-b1bb-d384c341e12b\",\"876e5e03-
1222-49c3-a0f9-70415b51f543\"]
```

● cURLが利用できる環境のターミナル などを起動し、cURLコマンドを入力し 実行する

- この際、必要な「Request headers」に加えて、 「Authorization」ヘッダを追加する 必要がある
 - -H "Authorization: Bearer eyJ…"
 をコマンドに追加する
 - ●「eyJ…」は事前に取得したAPIアクセス トークン

簡単にcURLコマンド例を取得する方法



HTTP r	equest \land
--------	----------------

Curl	
ତ Reveal secrets	Cop

curl -v -X POST "https://apigateway.research.global.fujitsu.com/t
r3/workflows" -H "Content-Type: application/json" -H "Cache-Contr
ol: no-cache″ -H ″Authorization: ·····

- 「Fujitsu Research Portal上でのAPI の利用4」と同様の操作をし、「Try it」
 ページを表示する
- 「HTTP request」タブ下のプルダウンメ ニューから「Curl」を選択し、「Copy」をク リックしてcURLコマンドをコピーする
 - 「Reveal secrets」をクリックすることでAPI アクセストークンを表示し、画面上からもコ ピーできる
- このコマンドを「cURLなどからのAPI利用 方法2」と同様にcURLが利用できるター ミナルなどにペーストし実行する

cURLなどからのAPI利用方法3



●実行結果が表示されるので確認する

HTTP/1.1 200 OK Connection: Keep-Alive

HTTP/1.1 201 Created Date: Fri, 07 Jul 2023 12:53:30 GMT Content-Type: application/json Transfer-Encoding: chunked Connection: keep-alive Request-Context: appId=cid-v1:3e4a2ee0-9d54-482f-9411-b7c2e3aed497

API仕様書のダウンロード





「API仕様」ページ中央の「API definition」から形式を選択すること で、指定の形式のAPI仕様書をダウ ンロードできる



Thank you

